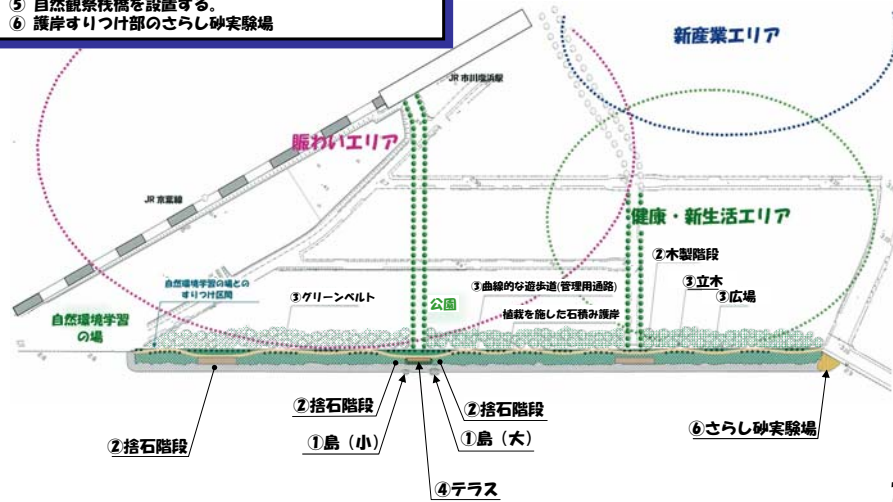


②-2 護岸検討委員会の資料（配置の一例）

□平面デザイン（検討中）を踏まえたバリエーションの提案

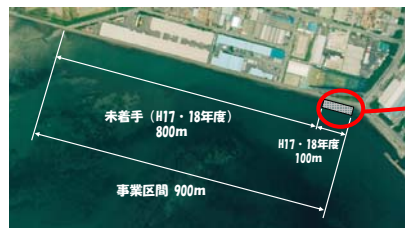
- ① シンボリックなスポットを造る。
- ② 水際へのアクセスができるように階段部を造る。
- ③ マウンドを含めた一体的な整備を図る。
- ④ 段差を利用したテラスを造る。
- ⑤ 自然観察桟橋を設置する。
- ⑥ 護岸すりつけ部のさらし砂実験場



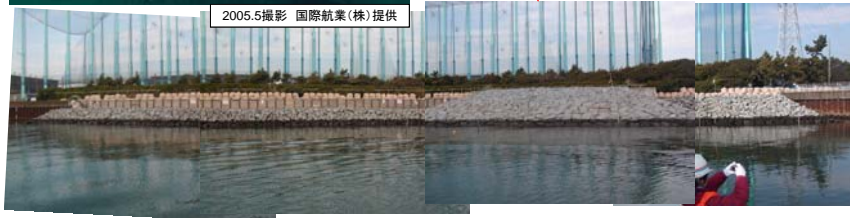
12

4. 護岸バリエーションの方向性

① H18年度工事までの護岸状況



2005.5撮影 国際航業(株)提供

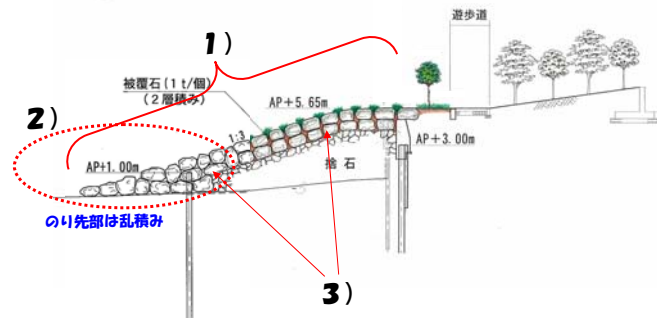


H18年度の施工状況(1工区 L=100m)

13

②バリエーションの例

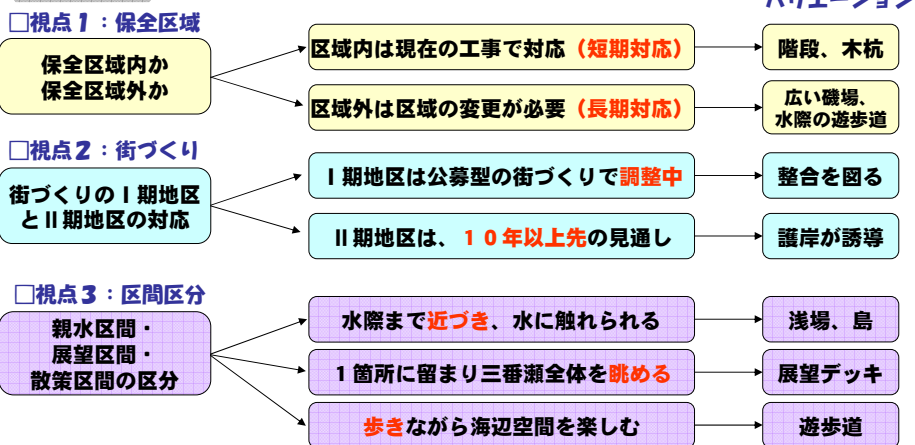
- | | | |
|--|---|---|
| <p>1) 斜面形状の工夫</p> <p>2) 水際形状の工夫</p> <p>3) 材料・材質の工夫</p> | } | <ul style="list-style-type: none"> ○利用面の向上 ○景観や空間（場）としての向上 ○生き物の生息の場としての向上 |
|--|---|---|



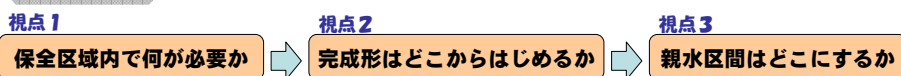
14

③バリエーションの検討にあたって必要なこと（視点の整理と検討の流れ）

検討の視点

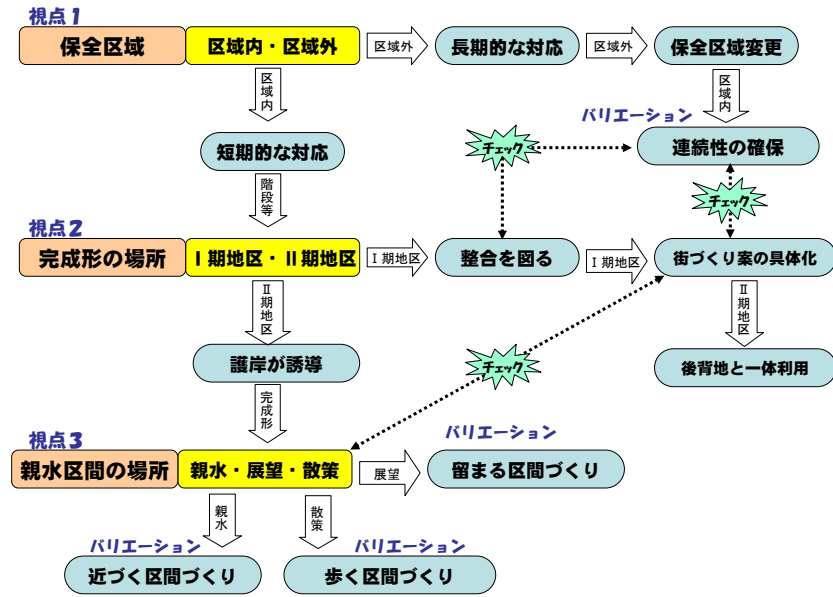


検討の流れ



15

③バリエーション検討のプロセス（空間づくり）



バリエーションのイメージ図

(参考資料)

- (1) 海岸保全区域内でのバリエーションイメージ
- (2) 海岸保全区域外でのバリエーションイメージ